

業 務 仕 様 書

① 修繕に関する業務仕様書（委託契約条項第20条関連）	1
② 南本町緊急排水施設維持管理業務仕様書	4
③ 公共下水道マンホールポンプ維持管理業務仕様書	8
④ 公共下水道マンホールポンプ仕様（能力）	15
⑤ 元町2丁目排水ポンプ維持管理業務仕様書	17
⑥ 元町1丁目調整池放流ポンプ維持管理業務仕様書	20
⑦ 元町堰上げゲート（第1・第2）維持管理業務仕様書	23
⑧ 本町3丁目雨水調整ゲート維持管理業務仕様書	26
⑨ 本所会館前排水ポンプ維持管理業務仕様書	29
⑩ 柳橋・千刈調整池放流ポンプ維持管理業務仕様書	32
⑪ 本町4丁目除塵機維持管理業務仕様書	35
⑫ 産業団地1号調整池放流ポンプ維持管理業務仕様書	38
⑬ 市野坪町除塵機維持管理業務仕様書	41
⑭ 美里町調整池放流ポンプ維持管理業務仕様書	44
⑮ 本所雨水調整池放流ポンプ維持管理業務仕様書	47
⑯ 見附駅東口雨水貯留槽放流ポンプ維持管理業務仕様書	50
⑰ 新幸町堰上げゲート維持管理業務仕様書	53
⑱ 自家用電気工作物の保安業務仕様書	56

① 修繕に関する業務仕様書

(目 的)

第1条 この仕様書は、委託者と受託者が締結した、見附市公共下水道処理場施設ほか 包括的維持管理業務委託契約（以下「契約」という。）の中の修繕の実施にあたり、包括的維持管理業務（以下「業務」という。）の適正を期するため必要な事項を定めるものとする。

(業務の実施施設)

第2条 業務の実施施設は下記のとおりとする。

- ①葛巻終末処理場 見附市葛巻2丁目5番5号
- ②今町終末処理場 見附市今町7丁目20番5号
- ③葛巻雨水ポンプ場 見附市葛巻2丁目923番地ほか
- ④南本町緊急排水施設 見附市南本町2丁目118-37番地ほか
- ⑤マンホールポンプ設備（計59箇所） 見附市細越ほか
- ⑥雨水管渠設備（計13箇所） 見附市元町1丁目ほか

(業務の履行)

第3条 受託者は、下水道施設の機能を十分発揮できるよう契約書及び仕様書等に基づき、効率的、経済的、かつ安全に業務を履行しなければならない。

(修繕執行する金額)

第4条 契約の履行期間中の1年度の修繕実施額は、25,000,000円とする。ただし、消費税は含まない。

2 前項に示す金額の施設毎の内訳は次の金額を目安として執行するものとし、必要に応じて施設間で流用することができる。

- ① 葛巻終末処理場 ￥8,000,000円
 - ② 今町終末処理場 ￥12,000,000円
 - ③ 葛巻雨水ポンプ場 ￥2,000,000円
- 及び南本町緊急排水施設

④ マンホールポンプ設備 ￥2,000,000円

⑤ 雨水管渠設備 ￥1,000,000円

(受託者の義務)

第5条 受託者は、故障した設備を放置してはならない。

- 2 大規模な設備修繕に至らないように、常に設備を監視し、細かい予防修繕を行うものとする。
- 3 修繕を施す時は、日本下水道事業団の各種諸基準（①機械設備工事一般仕様書②電気設備工事一般仕様書③機械設備標準仕様書等）に基づき施工するものとする。
- 4 予防修繕を行う時は、発注者発注の修繕と内容が重複しないか発注者に確認をとるものとする。

(支払)

第6条 委託者が、受託者に対し支払う毎月の金額は、年間修繕実施額を12カ月で除した金額（端数処理した額）とする。ただし、施設間で修繕費用を流用した場合は、年度末に支払う額を施設間で加除した金額で支払うものとする。

(費用の負担)

第7条 本業務執行のための発注事務手数料は受託者の負担とする。

- 2 本業務の執行のための各基準書・参考図書等は受託者の負担とする。

(提出書類)

第8条 受託者は、以下の書類を委託者に提出しなければならない。

- ①契約締結後、年間修繕計画書
- ②本件施設の設備の故障等により修繕の必要が生じた場合、修繕が必要である設備の状況、原因、当面の対応を記載した故障通知書
- ③修繕を行う前、当該修繕の実施予定額及びその内訳が記載された書類（見積書）の写し
- ④修繕が完了した時、実績報告書（工事写真、検査成績書等）
- ⑤修繕が完了しこれに係る費用を清算した時、修繕額の支払いを証明する書類の写し
- ⑥月例報告時、修繕に着手、完了した事件をまとめた進捗状況集計表

(受託者の創意工夫)

第9条 受託者は、設備が故障したとき安易に業者を呼んで修繕することなく、自社にて故障原因の調査をする等、経費の極力の節減に努めること。

2 受託者は、修繕コスト低減のため、機械設備に精通した技術者及び電気設備の展開接続図を解読できる技術者を確保し、配置するものとする。

(委託者の情報開示)

第10条 受託者が修繕業務を適正金額で執行できるように、委託者は過去の修繕に関する記録を受託者に提示するものとする。

2 その情報は入札情報にも抵触するため、受託者は秘密の保持に努めるものとする。(もし違反した場合は、委託者は受託者に対して罰則を科すことができるものとする)

(委託者の立ち入り権限)

第11条 委託者が終末処理場を巡視し、故障した設備が放置されているのを発見した場合は、委託者に対して修繕勧告ができるものとする。

(疑義)

第12条 この仕様書に明記されていない事項ならびに疑義を生じた場合は、委託者及び受託者協議のうえ、定めるものとする。

② 南本町緊急排水施設 維持管理業務仕様書

第1章 総則

(仕様書の適用範囲)

第1条 本仕様書は、南本町緊急排水施設（以下「緊急排水施設」という。）の維持管理業務を見附市（以下「委託者」という。）が受託者に委託する場合に適用する。

(業務の履行)

第2条 受託者は、緊急排水施設の機能を十分発揮するよう、契約書及び本仕様書に基づき、効率的、経済的、かつ安全に業務を履行しなければならない。

(月次点検業務の内容)

第3条 月次点検業務の内容は次に掲げる事項とする。

①ポンプ設備

- ア. 月1回の返送ポンプ及び排水ポンプの試運転、付随機器の運転操作、保守点検、修理、調整、清掃等
- イ. 吐出口の保守点検、清掃等
- ウ. 降雨時における排水ポンプの運転操作
- エ. 降雨後の返送ポンプの運転操作

②電気設備

- ア. 最低月1回の受電電圧・ポンプ運転電流値等の確認
- イ. 最低月1回の電気室内の各種計器類の動作状況の確認

③スクリーン設備

- ア. 月1回のスクリーン及び付随機器の保守点検、修理、調整
- イ. 最低月1回のスクリーンの清掃、し渣等の場外搬出

④分水口設備

- ア. 月1回の分水口内の保守点検、修理、調整
- イ. 最低月1回の分水口内の流入孔（オリフィス管）の清掃、し渣等の場外搬出

⑤清掃及び雑務関係

- ア. ポンプ室及び電気室の清掃等

イ. 施設敷地内の除草業務、軽微な除雪業務

ウ. その他業務遂行上、必要と認められる業務

(年次点検業務の内容)

第4条 年次点検業務の内容は次に掲げる事項とする。

①ポンプ設備

ア. 返送ポンプの引上げ点検・清掃

イ. 返送ポンプのオイル交換

②電気設備

ア. ポンプの絶縁抵抗測定

イ. フリクトスイッチの点検・清掃

(緊急時の体制)

第5条 受託者は、台風、大雨、地震などの自然災害及び重大な事故に備え、従業員を非常招集する体制を確立し、その旨を委託者に届出なければならない。

(安全の確保)

第6条 受託者は、労働安全衛生法、酸素欠乏症等防止規則、その他災害防止関係法令の定めるところにより、常に安全管理に必要な措置をし、労働災害発生の防止に努めること。

2 受託者は、作業中、酸素欠乏空気や有毒ガス等が発生した場合、直ちに必要な措置を講ずるとともに、委託者及び他関係機関に緊急連絡を行い、その指示により適正な措置を講じなければならない。

(火災及び災害の防止)

第7条 受託は、施設内における盗難、災害等の事故発生を防止するため、十分な監視を行わなければならない。

(受託者の創意工夫)

第8条 受託者は、委託者と協議しながら常に創意工夫を心がけ、施設の効率化を図らなければならない。

第2章 業務要領

(提出書類)

第9条 受託者は、契約締結後速やかに次の書類を委託者に提出しなければならない。

- ①業務着手届
- ②維持管理業務計画書
- ③緊急時連絡体制フロー
- ④その他、委託者が必要とする書類

2 受託者は、保守点検の際、点検結果報告書を委託者に提出しなければならない。

3 受託者は、故障報告書及び補修報告書をその都度速やかに委託者に提出しなければならない。

4 受託者は、契約が満了したときは、業務完了届を委託者に提出しなければならない。

(点検整備)

第10条 受託者は、事故等を未然に防止するとともに、機器の耐用年数を増すため、定期的に点検整備を行わなければならない。

(修理)

第11条 受託者は、点検整備により発見した不良箇所のうち現場にて修理可能なものについては、修理内容を委託者と協議の上処置しなければならない。ただし、緊急を要する場合は、応急処置を行うとともに、委託者に報告し指示を受けなければならない。

(異常時の運転)

第12条 受託者は、台風、大雨等の異常時の運転については、状況等を速やかに発注者に報告するとともに、適切に対処しなければならない。

2 受託者は、葛巻終末処理場まで送信される水位や故障警報など、テレメータの情報を最大限に活用し、大雨時に合流区域の冠水被害が発生しないよう最大限の努力を払うこと。

第3章 その他

(費用の負担)

第13条 費用の負担等については、次のとおりとする。

- ①安全対策器具

業務履行に必要な安全対策器具類は、原則として受託者が備えるものとする。

②機器部品等

施設設備の修理に必要な機器部品については、受託者の負担とする。

③消耗品類

業務履行に必要な消耗品類は、受託者の負担とする。

(疑義等)

第14条 本仕様書について疑義が生じたとき、又は本仕様書に定めのない事項については、両者協議のうえ定めるものとする。

③ 公共下水道マンホールポンプ 維持管理業務仕様書

第1章 総則

(仕様書の適用範囲)

第1条 本仕様は、見附市公共下水道マンホールポンプ施設（以下「マンホールポンプ施設」という。）の維持管理業務を見附市（以下「委託者」という。）が受託者に委託する場合に適用する。

(業務の履行)

第2条 受託者は、マンホールポンプ施設の機能を十分発揮するよう、この仕様書に基づくほか、契約書に基づき、効率的、経済的、かつ安全に業務を履行しなければならない。

(業務委託内容)

第3条 受託者が実施する委託業務の範囲は、マンホールポンプ施設の保守点検、清掃及び修理とする。

(業務の履行場所)

第4条 マンホールポンプ施設の保守点検箇所については次に掲げる箇所とする。

【マンホールポンプ名称】

【所在地】

公下No. 1MP	細越1丁目4-13
公下No. 2MP	細越1丁目7-9
公下No. 3MP	細越2丁目7-36
公下No. 4MP	細越2丁目6-8
公下No. 5MP	細越2丁目13
公下No. 6MP	元町2丁目4-65
公下No. 7MP	南本町2丁目10-14
公下No. 8MP	双葉町2区18
公下No. 9MP	緑町1区6-36
公下No.10MP	緑町1区8-25
公下No.11MP	緑町1区5-5
公下No.12MP	月見台1-4-23

公下No.1 3MP	月見台1丁目 10-75
公下No.1 4MP	熱田町1区 560
公下No.1 5MP	熱田町1区 576
公下No.1 6MP	熱田町1区 284-6
公下No.1 7MP	新幸町7番 13
公下No.1 8MP	今町2丁目 14-37
公下No.1 9MP	今町4丁目 11-53
公下No.2 0MP	上新田町2区 429-17
公下No.2 1MP	芝野町 1083
公下No.2 2MP	明晶町 2060-20
公下No.2 3MP	福島町 360
公下No.2 4MP	新潟町 757
公下No.2 5MP	片桐町 699
公下No.2 6MP	市野坪町 855
公下No.2 7MP	片桐町 66
公下No.2 8MP	新潟町 2478
公下No.2 9MP	下新町 895
公下No.3 0MP	新潟町 3318
公下No.3 1MP	坂井町 3777
公下No.3 2MP	漆山町 1027-2
公下No.3 3MP	漆山町 945
公下No.3 4MP	明晶町 1873
公下No.3 5MP	反田町 10
公下No.3 6MP	元町1丁目 451-2
公下No.3 7MP	坂井町 2336
公下No.3 8MP	下関町 969
公下No.3 9MP	新潟町 1033-3
公下No.4 0MP	新潟町 1012
公下No.4 1MP	傍所町 2208-3
公下No.4 2MP	名木野町 3144-17

公下No.4 3MP	傍所町 425-2
公下No.4 4MP	下鳥町 1079
公下No.4 5MP	反田町 1437
公下No.4 6MP	山崎興野町 29
公下No.4 7MP	上新田町 7-6
公下No.4 8MP	庄川町 613
公下No.4 9MP	庄川町 744
公下No.5 0MP	下鳥町甲 250
公下No.5 1MP	指出町甲 1294
公下No.5 2MP	下関町乙 1359-1
公下No.5 3MP	六本木町 432
公下No.5 4MP	小栗山町 2707
公下No.5 5MP	下関町乙 1182-子
公下No.5 6MP	島切窪町甲 627-3
公下No.5 7MP	下関町丙 1818-1
公下No.5 8MP	三林町甲 1629
公下No.5 9MP	三林町甲 308-1

(巡回点検の実施)

第5条 受託者が実施する業務の実施頻度については、次のとおりとする。

(1) 点検回数

- ◎ 年次点検 年1回 巡回点検をすること。
- ◎ 月次点検 月1回 巡回点検をすること。(但し、No.20のみ月2回)

(2) 点検内容

- ◎ 年次点検
 - ①マンホール内の清掃 (スカム吸引を含む)
 - ②ポンプの引上げ点検・清掃
 - ③フリクトスイッチの点検・清掃
 - ④ポンプの絶縁抵抗測定
 - ⑤高水位・ポンプ故障警報の作動確認

⑥ポンプのオイル交換

◎ 月次点検

- ①マンホール内の点検・清掃・異常の有無の確認
- ②フリクトスイッチの点検
- ③ポンプ操作盤内の点検・異常の有無の確認
- ④ポンプ運転電流値・異音・振動・配管からの洩れの確認

(3) 機械器具

点検・清掃の実施に必要な機械器具（洗浄機・吸引車・三又チェンブロック・絶縁抵抗計）・工具及び消耗品（タービンオイル「無添加剤」含む）等については、受託者の負担において用意するものとする。

(緊急時の体制)

- 第6条 受託者は、マンホールポンプ施設に重大な支障を生じた場合に備え、従業員の非常招集ができる体制を確保しておくとともに、あらかじめ体制を委託者に届け出なければならない。
- 2 マンホールポンプ施設に設置された自動警報通報装置によって、設備の異常を受信した場合は、速やかに臨時点検の措置をするとともに遅滞なく委託者にその旨を連絡しなければならない。
- 3 緊急異常時出動の際に費やした費用については、別途契約で対処する。

(安全の確保)

- 第7条 労働安全衛生法、酸素欠乏症等防止規則、その他災害防止関係法令の定めるところにより、常に安全管理に必要な措置をし、労働災害発生の防止に努めること。
- 2 受託者は、作業中、酸素欠乏空気や有毒ガス等が発生した場合、直ちに必要な措置を講ずるとともに、委託者及び他関係機関に緊急連絡を行い、その指示により適正な措置を講じなければならない。

(受託者の創意工夫)

- 第8条 受託者は、業務の履行に当たり、常に創意工夫を心がけ施設の効率化を目指さなければならない。尚、施設の改変に及ぶ場合は、委託者と協議した上で、実施しなければならない。

(提出書類)

第9条 受託者は、次の各書類を提出しなければならない。

- (1) 着手届
- (2) 維持管理業務計画書
- (3) 緊急連絡体制フロー
- (4) その他甲が必要とする書類

2 契約期間が満了したときは、委託業務完了届を提出しなければならない。

第2章 業務要領

(維持管理業務計画書の届出)

第10条 受託者は、業務着手に先立ち次の事項について、維持管理業務計画書を作成し、委託者に届け出なければならない。

- (1) 維持管理業務計画書
- (2) 保安対策、安全対策及び業務内容に関すること。
- (3) 緊急連絡体制に関すること

(点検整備)

第11条 受託者は、事故等を未然に防止するとともに、機器の耐用年数を増すため、定期に点検整備を行わなければならない。

(修理)

第12条 受託者は、点検整備により発見した不良箇所又は事故故障の発生した破損箇所のうち現場にて修理可能なものについては、修理内容を委託者と協議のうえ処置しなければならない。ただし、緊急を要する場合は、応急処置を行うとともに、委託者に報告し指示を受けなければならない。

(費用の負担)

第13条 費用の負担等については、次のとおりとする。

- (1) 安全対策器具

業務履行に必要な安全対策器具類は、原則として受託者が備えるものとする。

(2) 機器部品等

施設設備の修繕に必要な機器部品については、受託者の負担とする。

(3) 消耗品類

業務履行に必要な消耗品類は、受託者の負担とする。

(4) 点検の実施に際して、疑義が生じた場合は、その都度両者協議を行い点検業務の履行に努めるものとする。

(その他)

第14条 その他、業務の実施については、次のとおりとする。

- (1) マンホール内を清掃したスカム等は葛巻終末処理場内の指定個所に廃棄のこと。
- (2) 年次点検は、概ね9月前後に行うこと。
- (3) 年次点検の際は、点検報告書と点検時の写真を提出のこと。
- (4) 月次点検の際は、点検報告書を提出のこと。
- (5) 緊急異常時に対応不能の場合は、委託者に連絡のこととする。

④ 公共下水道マンホールポンプ仕様（能力）【1】

	公下№1	公下№2	公下№3	公下№4	公下№5	公下№6	公下№7
	(細越№1)	(細越№2)	(細越№4)	(細越№3)	(細越圧送)	(元町三和)	(南本町圧送)
	細越1-4-13	細越1-7-9	細越1-7-36	細越2-6-8	細越2-13	元町2-4-65	南本町2-10-14
メーカー	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ
型 式	SER-73T3B	KS-VL63AK	KS-VL52AK	KS-VG802AK	KS-SP	KS-N1003AK	KS-SP152AK
台 数 (台)	2	2	2	2	2	2	2
口 径 (mm)	65	80	50	80	150	100	150
揚 程 (m)	8.6	3.3	5.0	2.6	25.0	3.4	6.8
吐出力 (m ³ /min)	0.290	0.160	0.283	0.588	2.000	1.170	2.706
電 圧 (V)	200	200	200	200	200	200	200
出 力 (kW)	2.2	1.5	0.75	2.2	18.5	3.7	7.5
2 台運転	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可
スカム対策機能	有り	有り	有り	有り	有り	有り	有り

④ 公共下水道マンホールポンプ仕様（能力）【2】

	公下№8	公下№9	公下№10	公下№11	公下№12	公下№13	公下№14
	(双葉町圧送)	(緑町№1)	(緑町№2)	(緑町№3)	(緑町№4)	(名木野小学校脇)	(熱田町№2)
	双葉町18	緑町6-36	緑町8-25	緑町5-5	月見台1-4-23	月見台1-10-75	熱田町560
メーカー	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ
型 式	KS-SP153AK	KS-N801AK	KS-VL52AK	KS-VL52AK	KS-VG802AK	KS-VL73AK	KS-VG801APK
台 数 (台)	2	2	2	2	2	2	2
口 径 (mm)	150	80	50	50	80	65	80
揚 程 (m)	14.3	4.9	3.7	3.7	5.1	4.7	3.5
吐出力 (m ³ /min)	2.706	0.460	0.280	0.280	0.666	0.570	0.480
電 圧 (V)	200	200	200	200	200	200	200
出 力 (kW)	15	1.5	0.75	0.75	2.2	1.5	1.5
2 台運転	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可
スカム対策機能	有り	有り	有り	有り	有り	有り	有り

④ 公共下水道マンホールポンプ仕様（能力）【3】

	公下№15	公下№16	公下№17	公下№18	公下№19	公下№20	公下№21
	(熱田町№1)	(熱田町№3)	(新幸町)	(今町2丁目)	(今町4丁目)	(上新田№1)	(芝野町)
	熱田町576	熱田町284-6	新幸町7	今町2-14-37	今町4-11-53	上新田町429-17	芝野町1083
メーカー	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ
型 式	KS-VG805AK	KS-VL52AK	KS-VL63AK	KS-VL52AK	KS-VL51AK	KS-V0	KS-VL51AK
台 数 (台)	2	2	2	2	2	2	2
口 径 (mm)	80	50	80	50	50	80	50
揚 程 (m)	10.6	5.0	3.3	4.1	2.9	9.5	4.1
吐出力 (m ³ /min)	0.560	0.283	0.300	0.300	0.080	0.180	0.071
電 圧 (V)	200	200	200	200	200	200	200
出 力 (kW)	5.5	0.75	1.5	0.75	0.4	2.2	0.4
2 台運転	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可
スカム対策機能	有り	有り	有り	有り	有り	有り	有り

④ 公共下水道マンホールポンプ仕様（能力）【4】

		公下№22	公下№23	公下№24	公下№25	公下№26	公下№27	公下№28
		(明晶町)	(福島町)	(新潟町)	(片桐町)	(市野坪町)	(片桐町)	(新潟町)
		明晶町2060-20	福島町360	新潟町757	片桐町699	市野坪町855	片桐町66	新潟町2478
	メーカー	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ
	型 式	KS-VL52AK	KS-VH 53AK	KS-VH 53AK	KS-VG1005AK	KS-VH 53AK	KS-VG1003AK	KS-VL52AK
	台 数 (台)	2	2	2	2	2	2	2
	口 径 (mm)	50	50	50	100	50	100	50
	揚 程 (m)	5.7	6.5	6.5	6.5	7.1	4.8	3.1
	吐 出 量 (m ³ /min)	0.204	0.283	0.283	1.428	0.16	1.188	0.322
	電 圧 (V)	200	200	200	200	200	200	200
	出 力 (kW)	0.75	1.5	1.5	5.5	1.5	3.7	0.75
	2 台 運 転	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可
	スカム対策機能	有り	有り	有り	有り	有り	有り	有り

④ 公共下水道マンホールポンプ仕様（能力）【5】

		公下№29	公下№30	公下№31	公下№32	公下№33	公下№34	公下№35
		(下新町)	(新潟町)	(坂井町)	(漆山町)	(漆山町)	(明晶町)	(反田町)
		下新町895	新潟町3318	坂井町3777	漆山町1027-2	漆山町945	明晶町1873	反田町10
	メーカー	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ
	型 式	KS-VL73AK	KS-VL73AK	KS-VL74AK	KS-VL74AK	KS-VL73AK	KS-VL52AK	KS-VG805AK
	台 数 (台)	2	2	2	2	2	2	2
	口 径 (mm)	65	65	65	65	65	50	80
	揚 程 (m)	8.1	3.8	7.5	9.3	4.8	5.1	11.8
	吐 出 量 (m ³ /min)	0.318	0.480	0.444	0.283	0.120	0.159	0.636
	電 圧 (V)	200	200	200	200	200	200	200
	出 力 (kW)	1.5	1.5	2.2	2.2	1.5	0.75	5.5
	2 台 運 転	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可
	スカム対策機能	有り	有り	有り	有り	有り	有り	有り

④ 公共下水道マンホールポンプ仕様（能力）【6】

		公下№36	公下№37	公下№38	公下№39	公下№40	公下№41	公下№42
		(元町1丁目)	(坂井町)	(下関町)	(新潟町)	(新潟町)	(傍所町)	(名木野町)
		元町1丁目451-2	坂井町2336	下関町969	新潟町1033-3 (白銀町)	新潟町1012 (白銀町)	傍所町2208-3	名木野町3144-17
	メーカー	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ
	型 式	KS-VL73AK	KS-VL73AK	KS-N651AK	KS-N6507AK	KS-N6507AK	KS-N651AK	KS-VG801APK
	台 数 (台)	2	2	2	2	2	2	2
	口 径 (mm)	65	65	65	65	65	65	80
	揚 程 (m)	4.1	4.7	10.4	5.0	7.5	7.7	4.0
	吐 出 量 (m ³ /min)	0.120	0.120	0.290	0.159	0.180	0.300	0.450
	電 圧 (V)	200	200	200	200	200	200	200
	出 力 (kW)	1.5	1.5	1.5	0.75	0.75	1.5	1.5
	2 台 運 転	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可
	スカム対策機能	有り	有り	有り	有り	有り	有り	有り

④ 公共下水道マンホールポンプ仕様（能力）【7】

	公下No. 4 3	公下No. 4 4	公下No. 4 5	公下No. 4 6	公下No. 4 7	公下No. 4 8	公下No. 4 9
	(傍所町)	(下島町)	(反田町)	(島切窪町)	(上新田町)	(西山町)	(西山町)
	傍所町425-2	下島町1079	反田町1437	山崎興野町29	上新田町7-6	庄川町613 (西山町)	庄川町744 (西山町)
メーカー	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ
型 式	KS-N6507NK	KS-N6507AK	KS-N6507AK	KS-N6507AK	KS-N6507AK	KS-N6507AK	KS-N6507AK
台 数 (台)	2	2	2	2	2	2	2
口 径 (mm)	65	65	65	65	65	65	65
揚 程 (m)	4.4	4.9	6.8	6.4	2.8	4.7	7.0
吐出量 (m ³ /min)	0.120	0.180	0.160	0.160	0.120	0.160	0.160
電 圧 (V)	200	200	200	200	200	200	200
出 力 (kW)	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75
2 台運転	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可
スカム対策機能	有り	有り	有り	有り	有り	有り	有り

④ 公共下水道マンホールポンプ仕様（能力）【8】

	公下No. 5 0	公下No. 5 1	公下No. 5 2	公下No. 5 3	公下No. 5 4	公下No. 5 5	公下No. 5 6
	(下島町)	(指出町)	(下関町)	(六本木町)	(小栗山町)	(下関町)	(島切窪町)
	下島町甲250	指出町甲1294	下関町乙1359-1	葛巻町432	小栗山町2707	下関町乙1182-子	島切窪町公627-3
メーカー	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ	クボタ
型 式	KS-N6507NK	KS-N652AK	KS-N6507A2K	KS-N6507A2K	KS-N6507A2K	KS-N6507A2K	KS-N801A2ZK
台 数 (台)	2	2	2	2	2	2	2
口 径 (mm)	65	65	65	65	65	65	80
揚 程 (m)	5.5	12.7	4.9	5.2	11.6	7.4	4.4
吐出量 (m ³ /min)	0.160	0.160	0.120	0.120	0.290	0.160	0.160
電 圧 (V)	200	200	200	200	200	200	200
出 力 (kW)	0.75	2.2	0.75	0.75	2.2	0.75	1.5
2 台運転	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可
スカム対策機能	有り	有り	有り	有り	有り	有り	有り

④ 公共下水道マンホールポンプ仕様（能力）【9】

	公下No. 5 7	公下No. 5 8	公下No. 5 9				
	(下関町)	(三林町)	(下関町)				
	下関町丙1818-1	三林町甲1629	三林町甲308-1				
メーカー	クボタ	クボタ	クボタ				
型 式	KS-801A3ZK	KS-N802A3ZK	KS-801A3ZK				
台 数 (台)	2	2	2				
口 径 (mm)	80	80	80				
揚 程 (m)	7.1	11.5	5.2				
吐出量 (m ³ /min)	0.290	0.290	0.190				
電 圧 (V)	200	200	200				
出 力 (kW)	1.5	1.5	1.5				
2 台運転	不可	不可	不可				
スカム対策機能	有り	有り	有り				

⑤ 元町2丁目排水ポンプ 維持管理業務仕様書

第1章 総則

(仕様書の適用範囲)

第1条 本仕様書は、見附市元町2丁目排水ポンプ施設（以下「ポンプ施設」という。）の維持管理業務を見附市（以下「委託者」という。）が受託者に委託する場合に適用する。

(業務の履行)

第2条 受託者は、ポンプ施設の機能を十分発揮するよう、契約書及び本仕様書に基づき、効率的、経済的、かつ安全に業務を履行しなければならない。

(業務の内容)

第3条 受託者が実施する委託業務の範囲は、ポンプ施設の保守点検、清掃及び修理とする。

(巡回点検の実施)

第4条 受託者が実施する業務の頻度については、次のとおりとする。

(1) 点検回数及び内容

◎年次点検 年1回 巡回点検をすること。

- ①マンホール内の清掃（スカム汚泥等は葛巻処理場内の指定箇所に廃棄のこと）
- ②ポンプの引上げ点検・清掃（クレーン付きトラック使用）
- ③フリクトスイッチの点検・清掃
- ④ポンプの絶縁抵抗測定
- ⑤高水位・ポンプ故障警報の動作確認
- ⑥ポンプのオイル交換

◎月次点検 月1回 巡回点検をすること。

- ①マンホール内の点検・清掃・異常の有無の確認
- ②フリクトスイッチの点検
- ③ポンプ操作盤内の点検・異常の有無の確認
- ④ポンプ運転電流値・異音・振動・配管からの洩れの確認

(2) 機械器具

点検・清掃の実施に必要な機械器具（洗浄機・吸引車・三又チェンブロック・絶縁抵抗計）・工具及び消耗品（タービンオイル「無添加剤」含む）等については、受託者の負担において用意するものとする。

(緊急時の対応)

第5条 受託者は、ポンプ施設に設置された自動警報通報装置によって、設備の異常を受信した場合は、速やかに応急点検（地上での確認）のみを行い、後日、本点検を行うこと。また、遅滞なく発注者にその旨を連絡しなければならない。

2 本点検に費やした費用については、本契約に含むものとする。

(安全の確保)

第6条 受託者は、労働安全衛生法、酸素欠乏症等防止規則、その他災害防止関係法令の定めるところにより、常に安全管理に必要な措置をし、労働災害発生の防止に努めること。

(受託者の創意工夫)

第7条 受託者は、委託者と協議しながら常に創意工夫を心がけ、施設の効率化を図らなければならない。

第2章 業務要領

(提出書類)

第8条 受託者は、契約締結後速やかに次の書類を委託者に提出しなければならない。

- (1) 業務着手届
- (2) 維持管理業務計画書
- (3) その他、委託者が必要とする書類

- 2 受託者は、保守点検の際、点検結果報告書を委託者に提出しなければならない。
- 3 受託者は、故障報告書及び補修報告書をその都度速やかに委託者に提出しなければならない。
- 4 受託者は、契約が満了したときは、業務完了届を委託者に提出しなければならない。

(点検整備)

第9条 受託者は、事故等を未然に防止するとともに、機器の耐用年数を増すため、定期的に点検整備を行わなければならない。

(修理)

第10条 受託者は、点検整備により発見した不良箇所のうち現場にて修理可能なものについては、修理内容を委託者と協議のうえ処置しなければならない。ただし、緊急を要する場合は、応急処置を行うとともに、委託者に報告し指示を受けなければならない。

(費用の負担)

第11条 費用の負担等については、次のとおりとする。

(1) 安全対策器具

業務履行に必要な安全対策器具類は、原則として受託者が備えるものとする。

(2) 機器部品等

施設設備の修理に必要な機器部品については、受託者の負担とする。

(3) 消耗品類

業務履行に必要な消耗品類は、受託者の負担とする。

(疑義等)

第12条 本仕様書について疑義が生じたとき、又は本仕様書に定めのない事項については、両者協議のうえ定めるものとする。

⑥ 元町 1 丁目調整池放流ポンプ 維持管理業務仕様書

第 1 章 総則

(仕様書の適用範囲)

第 1 条 本仕様書は、見附市元町 1 丁目調整池放流ポンプ施設（以下「ポンプ施設」という。）の維持管理業務を見附市（以下「委託者」という。）が受託者に委託する場合に適用する。

(業務の履行)

第 2 条 受託者は、ポンプ施設の機能を十分発揮するよう、契約書及び本仕様書に基づき、効率的、経済的、かつ安全に業務を履行しなければならない。

(業務の内容)

第 3 条 受託者が実施する委託業務の範囲は、ポンプ施設の保守点検、清掃及び修理とする。

(巡回点検の実施)

第 4 条 受託者が実施する業務の頻度については、次のとおりとする。

(1) 点検回数及び内容

◎年次点検 年 1 回 巡回点検をすること。

- ①マンホール内の清掃（スカム汚泥等は葛巻処理場内の指定箇所に廃棄のこと）
- ②ポンプの引上げ点検・清掃（人力吊り上げ、降し）
- ③フリクトスイッチの点検・清掃
- ④ポンプの絶縁抵抗測定
- ⑤高水位・ポンプ故障警報の動作確認
- ⑥ポンプのオイル交換

◎月次点検 月 1 回 巡回点検をすること。

- ①マンホール内の点検・清掃・異常の有無の確認
- ②フリクトスイッチの点検
- ③ポンプ操作盤内の点検・異常の有無の確認
- ④ポンプ運転電流値・異音・振動・配管からの洩れの確認

(2) 機械器具

点検・清掃の実施に必要な機械器具（洗浄機・吸引車・三又チェンブロック・絶縁抵抗計）・工具及び消耗品（タービンオイル「無添加剤」含む）等については、受託者の負担において用意するものとする。

(緊急時の対応)

第5条 受託者は、ポンプ施設に設置された自動警報通報装置によって、設備の異常を受信した場合は、速やかに応急点検（地上での確認）のみを行い、後日、本点検を行うこと。また、遅滞なく発注者にその旨を連絡しなければならない。

2 本点検に費やした費用については、本契約に含むものとする。

(安全の確保)

第6条 受託者は、労働安全衛生法、酸素欠乏症等防止規則、その他災害防止関係法令の定めるところにより、常に安全管理に必要な措置をし、労働災害発生の防止に努めること。

(受託者の創意工夫)

第7条 受託者は、委託者と協議しながら常に創意工夫を心がけ、施設の効率化を図らなければならない。

第2章 業務要領

(提出書類)

第8条 受託者は、契約締結後速やかに次の書類を委託者に提出しなければならない。

(1) 業務着手届

(2) 維持管理業務計画書

(3) その他、委託者が必要とする書類

2 受託者は、保守点検の際、点検結果報告書を委託者に提出しなければならない。

3 受託者は、故障報告書及び補修報告書をその都度速やかに委託者に提出しなければならない。

4 受託者は、契約が満了したときは、業務完了届を委託者に提出しなければならない。

(点検整備)

第9条 受託者は、事故等を未然に防止するとともに、機器の耐用年数を増すため、定期的に点検整備を行わなければならない。

(修理)

第10条 受託者は、点検整備により発見した不良箇所のうち現場にて修理可能なものについては、修理内容を委託者と協議のうえ処置しなければならない。ただし、緊急を要する場合は、応急処置を行うとともに、委託者に報告し指示を受けなければならない。

(費用の負担)

第11条 費用の負担等については、次のとおりとする。

(1) 安全対策器具

業務履行に必要な安全対策器具類は、原則として受託者が備えるものとする。

(2) 機器部品等

施設設備の修理に必要な機器部品については、受託者の負担とする。

(3) 消耗品類

業務履行に必要な消耗品類は、受託者の負担とする。

(疑義等)

第12条 本仕様書について疑義が生じたとき、又は本仕様書に定めのない事項については、両者協議のうえ定めるものとする。

⑦ 元町堰上げゲート（第１・第２） 維持管理業務仕様書

第１章 総則

（仕様書の適用範囲）

第１条 本仕様書は、見附市元町堰上げゲート施設（以下「ゲート施設」という。）の維持管理業務を見附市（以下「委託者」という。）が受託者に委託する場合に適用する。

（業務の履行）

第２条 受託者は、ゲート施設の機能を十分発揮するよう、契約書及び本仕様書に基づき、効率的、経済的、かつ安全に業務を履行しなければならない。

（業務の内容）

第３条 受託者が実施する委託業務の範囲は、ゲート施設の保守点検、清掃及び修理とする。

（巡回点検の実施）

第４条 受託者が実施する業務の頻度については、次のとおりとする。

（１）点検回数及び内容

◎年次点検 年１回 巡回点検をすること。

- ①ゲート近辺の清掃
- ②電動操作機の絶縁抵抗測定
- ③電動操作機のオイル交換
- ④水位計の点検・清掃

◎月次点検 月１回 巡回点検をすること。

- ①ゲートを作動させ、異常の有無の確認
- ②水位計の点検・清掃
- ③ゲート操作盤内の点検・異常の有無の確認
- ④ゲート運転電流値・異音・振動の確認

（２）機械器具

点検・清掃の実施に必要な機械器具（洗浄機・吸引車・三又チェンブロック・絶縁抵抗計）・工具及び消耗品（タービンオイル「無添加剤」含む）等については、受託者の負担において

用意するものとする。

(安全の確保)

第5条 受託者は、労働安全衛生法、酸素欠乏症等防止規則、その他災害防止関係法令の定めるところにより、常に安全管理に必要な措置をし、労働災害発生の防止に努めること。

(受託者の創意工夫)

第6条 受託者は、委託者と協議しながら常に創意工夫を心がけ、施設の効率化を図らなければならない。

第2章 業務要領

(提出書類)

第7条 受託者は、契約締結後速やかに次の書類を委託者に提出しなければならない。

- (1) 業務着手届
- (2) 維持管理業務計画書
- (3) その他、委託者が必要とする書類

- 2 受託者は、保守点検の際、点検結果報告書を委託者に提出しなければならない。
- 3 受託者は、故障報告書及び補修報告書をその都度速やかに委託者に提出しなければならない。
- 4 受託者は、契約が満了したときは、業務完了届を委託者に提出しなければならない。

(点検整備)

第8条 受託者は、事故等を未然に防止するとともに、機器の耐用年数を増すため、定期的に点検整備を行わなければならない。

(修理)

第9条 受託者は、点検整備により発見した不良箇所のうち現場にて修理可能なものについては、修理内容を委託者と協議のうえ処置しなければならない。ただし、緊急を要する場合は、応急処置を行うとともに、委託者に報告し指示を受けなければならない。

(費用の負担)

第10条 費用の負担等については、次のとおりとする。

(1) 安全対策器具

業務履行に必要な安全対策器具類は、原則として受託者が備えるものとする。

(2) 機器部品等

施設設備の修理に必要な機器部品については、受託者の負担とする。

(3) 消耗品類

業務履行に必要な消耗品類は、受託者の負担とする。

(疑義等)

第11条 本仕様書について疑義が生じたとき、又は本仕様書に定めのない事項については、両者協議のうえ定めるものとする。

⑧ 本町3丁目雨水調整ゲート 維持管理業務仕様書

第1章 総則

（仕様書の適用範囲）

第1条 本仕様書は、見附市本町3丁目雨水調整ゲート施設（以下「ゲート施設」という。）の維持管理業務を見附市（以下「委託者」という。）が受託者に委託する場合に適用する。

（業務の履行）

第2条 受託者は、ゲート施設の機能を十分発揮するよう、契約書及び本仕様書に基づき、効率的、経済的、かつ安全に業務を履行しなければならない。

（業務の内容）

第3条 受託者が実施する委託業務の範囲は、ゲート施設の保守点検、清掃及び修理とする。

（巡回点検の実施）

第4条 受託者が実施する業務の頻度については、次のとおりとする。

（1）点検回数及び内容

◎年次点検 年1回 巡回点検をすること。

- ①ゲート近辺の清掃
- ②電動操作機の絶縁抵抗測定
- ③弁棒の給油
- ④感雨器の点検・清掃

◎月次点検 月1回 巡回点検をすること。

- ①ゲートを作動させ、異常の有無の確認
- ②感雨器の点検・清掃
- ③ゲート操作盤内の点検・異常の有無の確認
- ④ゲート運転電流値・異音・振動の確認

（2）機械器具

点検・清掃の実施に必要な機械器具（洗浄機・吸引車・三又チェンブロック・絶縁抵抗計）・工具及び消耗品（グリース含む）等については、受託者の負担において用意するものとする。

(安全の確保)

第5条 受託者は、労働安全衛生法、酸素欠乏症等防止規則、その他災害防止関係法令の定めるところにより、常に安全管理に必要な措置をし、労働災害発生の防止に努めること。

(受託者の創意工夫)

第6条 受託者は、委託者と協議しながら常に創意工夫を心がけ、施設の効率化を図らなければならない。

第2章 業務要領

(提出書類)

第7条 受託者は、契約締結後速やかに次の書類を委託者に提出しなければならない。

- (1) 業務着手届
- (2) 維持管理業務計画書
- (3) その他、委託者が必要とする書類

- 2 受託者は、保守点検の際、点検結果報告書を委託者に提出しなければならない。
- 3 受託者は、故障報告書及び補修報告書をその都度速やかに委託者に提出しなければならない。
- 4 受託者は、契約が満了したときは、業務完了届を委託者に提出しなければならない。

(点検整備)

第8条 受託者は、事故等を未然に防止するとともに、機器の耐用年数を増すため、定期的に点検整備を行わなければならない。

(修理)

第9条 受託者は、点検整備により発見した不良箇所のうち現場にて修理可能なものについては、修理内容を委託者と協議のうえ処置しなければならない。ただし、緊急を要する場合は、応急処置を行うとともに、委託者に報告し指示を受けなければならない。

(費用の負担)

第10条 費用の負担等については、次のとおりとする。

- (1) 安全対策器具

業務履行に必要な安全対策器具類は、原則として受託者が備えるものとする。

(2) 機器部品等

施設設備の修理に必要な機器部品については、受託者の負担とする。

(3) 消耗品類

業務履行に必要な消耗品類は、受託者の負担とする。

(疑義等)

第 1 1 条 本仕様書について疑義が生じたとき、又は本仕様書に定めのない事項については、両者協議のうえ定めるものとする。

⑨ 本所会館前排水ポンプ 維持管理業務仕様書

第1章 総則

(仕様書の適用範囲)

第1条 本仕様書は、見附市本所会館前排水ポンプ施設（以下「ポンプ施設」という。）の維持管理業務を見附市（以下「委託者」という。）が受託者に委託する場合に適用する。

(業務の履行)

第2条 受託者は、ポンプ施設の機能を十分発揮するよう、契約書及び本仕様書に基づき、効率的、経済的、かつ安全に業務を履行しなければならない。

(業務の内容)

第3条 受託者が実施する委託業務の範囲は、ポンプ施設の保守点検、清掃及び修理とする。

(巡回点検の実施)

第4条 受託者が実施する業務の頻度については、次のとおりとする。

(1) 点検回数及び内容

◎年次点検 年1回 巡回点検をすること。

- ①ポンプピット内の清掃（スカム汚泥等は葛巻処理場内の指定箇所に廃棄のこと）
- ②ポンプの引上げ点検・清掃（クレーン付きトラック使用）
- ③フリクトスイッチの点検・清掃
- ④ポンプの絶縁抵抗測定
- ⑤高水位・ポンプ故障警報の動作確認
- ⑥ポンプのオイル交換

◎月次点検 月1回 巡回点検をすること。

- ①ポンプピット内の点検・清掃・異常の有無の確認
- ②フリクトスイッチの点検
- ③ポンプ操作盤内の点検・異常の有無の確認
- ④ポンプ運転電流値・異音・振動・配管からの洩れの確認

(2) 機械器具

点検・清掃の実施に必要な機械器具（洗浄機・吸引車・三又チェンブロック・絶縁抵抗計）・工具及び消耗品（タービンオイル「無添加剤」含む）等については、受託者の負担において用意するものとする。

(安全の確保)

第5条 受託者は、労働安全衛生法、酸素欠乏症等防止規則、その他災害防止関係法令の定めるところにより、常に安全管理に必要な措置をし、労働災害発生の防止に努めること。

(受託者の創意工夫)

第6条 受託者は、委託者と協議しながら常に創意工夫を心がけ、施設の効率化を図らなければならない。

第2章 業務要領

(提出書類)

第7条 受託者は、契約締結後速やかに次の書類を委託者に提出しなければならない。

(1) 業務着手届

(2) 維持管理業務計画書

(3) その他、委託者が必要とする書類

2 受託者は、保守点検の際、点検結果報告書を委託者に提出しなければならない。

3 受託者は、故障報告書及び補修報告書をその都度速やかに委託者に提出しなければならない。

4 受託者は、契約が満了したときは、業務完了届を委託者に提出しなければならない。

(点検整備)

第8条 受託者は、事故等を未然に防止するとともに、機器の耐用年数を増すため、定期的に点検整備を行わなければならない。

(修理)

第9条 受託者は、点検整備により発見した不良箇所のうち現場にて修理可能なものについては、修理内容を委託者と協議のうえ処置しなければならない。ただし、緊急を要する場合は、応急処置を

行うとともに、委託者に報告し指示を受けなければならない。

(費用の負担)

第10条 費用の負担等については、次のとおりとする。

(1) 安全対策器具

業務履行に必要な安全対策器具類は、原則として受託者が備えるものとする。

(2) 機器部品等

施設設備の修理に必要な機器部品については、受託者の負担とする。

(3) 消耗品類

業務履行に必要な消耗品類は、受託者の負担とする。

(疑義等)

第11条 本仕様書について疑義が生じたとき、又は本仕様書に定めのない事項については、両者協議のうえ定めるものとする。

⑩ 柳橋・千刈調整池放流ポンプ 維持管理業務仕様書

第1章 総則

（仕様書の適用範囲）

第1条 本仕様書は、見附市柳橋・千刈調整池放流ポンプ施設（以下「ポンプ施設」という。）の維持管理業務を見附市（以下「委託者」という。）が受託者に委託する場合に適用する。

（業務の履行）

第2条 受託者は、ポンプ施設の機能を十分発揮するよう、契約書及び本仕様書に基づき、効率的、経済的、かつ安全に業務を履行しなければならない。

（業務の内容）

第3条 受託者が実施する委託業務の範囲は、ポンプ施設の保守点検、清掃及び修理とする。

（巡回点検の実施）

第4条 受託者が実施する業務の頻度については、次のとおりとする。

（1）点検回数及び内容

◎年次点検 年1回 巡回点検をすること。

- ①高水位・ポンプ故障警報の動作確認
- ②水位計～変換器間の信号ループ試験
- ③ポンプの引き上げ点検清掃、オイル交換（人力吊り上げ、降し）
- ④フリクトスイッチの点検・清掃

◎月次点検 月1回 巡回点検をすること。

- ①ポンプピット内の点検・異常の有無の確認
- ②ポンプ操作盤内の点検・異常の有無の確認
- ③ポンプ運転電流値・異音・振動・配管からの洩れの確認
- ④ポンプの絶縁抵抗測定
- ⑤フリクトスイッチの点検
- ⑥圧力式水位計の点検

(2) 機械器具

点検・清掃の実施に必要な機械器具（洗浄機・絶縁抵抗計・直流信号発生器）・工具等については、受託の負担において用意するものとする。

(安全の確保)

第5条 受託者は、労働安全衛生法、酸素欠乏症等防止規則、その他災害防止関係法令の定めるところにより、常に安全管理に必要な措置をし、労働災害発生の防止に努めること。

(受託者の創意工夫)

第6条 受託者は、委託者と協議しながら常に創意工夫を心がけ、施設の効率化を図らなければならない。

第2章 業務要領

(提出書類)

第7条 受託者は、契約締結後速やかに次の書類を委託者に提出しなければならない。

- (1) 業務着手届
- (2) 維持管理業務計画書
- (3) その他、委託者が必要とする書類

- 2 受託者は、保守点検の際、点検結果報告書を委託者に提出しなければならない。
- 3 受託者は、故障報告書及び補修報告書をその都度速やかに委託者に提出しなければならない。
- 4 受託者は、契約が満了したときは、業務完了届を委託者に提出しなければならない。

(点検整備)

第8条 受託者は、事故等を未然に防止するとともに、機器の耐用年数を増すため、定期的に点検整備を行わなければならない。

(修理)

第9条 受託者は、点検整備により発見した不良箇所のうち現場にて修理可能なものについては、修理内容を委託者と協議のうえ処置しなければならない。ただし、緊急を要する場合は、応急処置を行うとともに、委託者に報告し指示を受けなければならない。

(費用の負担)

第10条 費用の負担等については、次のとおりとする。

(1) 安全対策器具

業務履行に必要な安全対策器具類は、原則として受託者が備えるものとする。

(2) 機器部品等

施設設備の修理に必要な機器部品については、受託者の負担とする。

(3) 消耗品類

業務履行に必要な消耗品類は、受託者の負担とする。

(疑義等)

第11条 本仕様書について疑義が生じたとき、又は本仕様書に定めのない事項については、両者協議のうえ定めるものとする。

⑪ 本町4丁目除塵機 維持管理業務仕様書

第1章 総則

（仕様書の適用範囲）

第1条 本仕様書は、見附市本町4丁目除塵施設（姉崎農機脇）（以下「除塵施設」という。）の維持管理業務を見附市（以下「委託者」という。）が受託者に委託する場合に適用する。

（業務の履行）

第2条 受託者は、除塵施設の機能を十分発揮するように、契約書及び本仕様書に基づき、効率的、経済的、かつ安全に業務を履行しなければならない。

（業務の内容）

第3条 受託者が実施する委託業務の範囲は、除塵施設（ゲート施設を含む。）の保守点検、清掃及び修理とする。

（巡回点検の実施）

第4条 受託者が実施する業務の頻度については、次のとおりとする。

（1）点検回数及び内容

◎年次点検 年1回 巡回点検をすること。

①除塵施設の清掃

②掻揚機の絶縁抵抗測定

◎月次点検 月1回 巡回点検をすること。

①掻揚機を作動させ、異常の有無の確認

②掻揚機操作盤内の点検・異常の有無の確認

③掻揚機運転電流値・異音・振動の確認

（2）機械器具

点検・清掃の実施に必要な機械器具（洗浄機・吸引車・三又チェンブロック・絶縁抵抗計）・

工具及び消耗品（グリース含む）等については、受託者の負担において用意するものとする。

(安全の確保)

第5条 受託者は、労働安全衛生法、酸素欠乏症等防止規則、その他災害防止関係法令の定めるところにより、常に安全管理に必要な措置をし、労働災害発生の防止に努めること。

(受託者の創意工夫)

第6条 受託者は、委託者と協議しながら常に創意工夫を心がけ、施設の効率化を図らなければならない。

第2章 業務要領

(提出書類)

第7条 受託者は、契約締結後速やかに次の書類を委託者に提出しなければならない。

- (1) 業務着手届
- (2) 維持管理業務計画書
- (3) その他、委託者が必要とする書類

- 2 受託者は、保守点検の際、点検結果報告書を委託者に提出しなければならない。
- 3 受託者は、故障報告書及び補修報告書をその都度速やかに委託者に提出しなければならない。
- 4 受託者は、契約が満了したときは、業務完了届を委託者に提出しなければならない。

(点検整備)

第8条 受託者は、事故等を未然に防止するとともに、機器の耐用年数を増すため、定期的に点検整備を行わなければならない。

(修理)

第9条 受託者は、点検整備により発見した不良箇所のうち現場にて修理可能なものについては、修理内容を委託者と協議のうえ処置しなければならない。ただし、緊急を要する場合は、応急処置を行うとともに、委託者に報告し指示を受けなければならない。

(費用の負担)

第10条 費用の負担等については、次のとおりとする。

- (1) 安全対策器具

業務履行に必要な安全対策器具類は、原則として受託者が備えるものとする。

(2) 機器部品等

施設設備の修理に必要な機器部品については、受託者の負担とする。

(3) 消耗品類

業務履行に必要な消耗品類は、受託者の負担とする。

(疑義等)

第11条 本仕様書について疑義が生じたとき、又は本仕様書に定めのない事項については、両者協議のうえ定めるものとする。

⑫ 産業団地 1 号調整池放流ポンプ 維持管理業務仕様書

第 1 章 総則

（仕様書の適用範囲）

第 1 条 本仕様書は、見附市産業団地 1 号調整池放流ポンプ施設（以下「ポンプ施設」という。）の維持管理業務を見附市（以下「委託者」という。）が受託者に委託する場合に適用する。

（業務の履行）

第 2 条 受託者は、ポンプ施設の機能を十分発揮するよう、契約書及び本仕様書に基づき、効率的、経済的、かつ安全に業務を履行しなければならない。

（業務の内容）

第 3 条 受託者が実施する委託業務の範囲は、ポンプ施設の保守点検、清掃及び修理とする。

（巡回点検の実施）

第 4 条 受託者が実施する業務の頻度については、次のとおりとする。

（1）点検回数及び内容

◎年次点検 年 1 回 巡回点検をすること。

- ①高水位・ポンプ故障警報の動作確認
- ②仕切弁故障警報の動作確認
- ③水位計～変換器間の信号ループ試験
- ④ポンプの点検清掃・オイル交換（人力吊り上げ、降し）
- ⑤フリクトスイッチの点検・清掃

◎月次点検 月 1 回 巡回点検をすること。

- ①ポンプピット内の点検・異常の有無の確認
- ②ポンプ操作盤内の点検・異常の有無の確認
- ③ポンプ運転電流値・異音・振動・配管からの洩れの確認
- ④仕切弁稼働電流値・異音・振動の確認
- ⑤ポンプの絶縁抵抗測定
- ⑥仕切弁の絶縁抵抗測定

⑦フリクトスイッチの点検

⑧圧力式水位計の点検

(2) 機械器具

点検・清掃の実施に必要な機械器具（洗浄機・絶縁抵抗計・直流信号発生器）・工具等については、受託者の負担において用意するものとする。

(安全の確保)

第5条 受託者は、労働安全衛生法、酸素欠乏症等防止規則、その他災害防止関係法令の定めるところにより、常に安全管理に必要な措置をし、労働災害発生の防止に努めること。

(受託者の創意工夫)

第6条 受託者は、委託者と協議しながら常に創意工夫を心がけ、施設の効率化を図らなければならない。

第2章 業務要領

(提出書類)

第7条 受託者は、契約締結後速やかに次の書類を委託者に提出しなければならない。

(1) 業務着手届

(2) 維持管理業務計画書

(3) その他、委託者が必要とする書類

2 受託者は、保守点検の際、点検結果報告書を委託者に提出しなければならない。

3 受託者は、故障報告書及び補修報告書をその都度速やかに委託者に提出しなければならない。

4 受託者は、契約が満了したときは、業務完了届を委託者に提出しなければならない。

(点検整備)

第8条 受託者は、事故等を未然に防止するとともに、機器の耐用年数を増すため、定期的に点検整備を行わなければならない。

(修理)

第9条 受託者は、点検整備により発見した不良箇所のうち現場にて修理可能なものについては、修理内容を委託者と協議のうえ処置しなければならない。ただし、緊急を要する場合は、応急処置を行うとともに、委託者に報告し指示を受けなければならない。

(費用の負担)

第10条 費用の負担等については、次のとおりとする。

(1) 安全対策器具

業務履行に必要な安全対策器具類は、原則として受託者が備えるものとする。

(2) 機器部品等

施設設備の修理に必要な機器部品については、受託者の負担とする。

(3) 消耗品類

業務履行に必要な消耗品類は、受託者の負担とする。

(疑義等)

第11条 本仕様書について疑義が生じたとき、又は本仕様書に定めのない事項については、両者協議のうえ定めるものとする。

⑬ 市野坪町除塵機 維持管理業務仕様書

第1章 総則

(仕様書の適用範囲)

第1条 本仕様書は、見附市市野坪町除塵施設（福島鉄工所脇）（以下「除塵施設」という。）の維持管理業務を見附市（以下「委託者」という。）が受託者に委託する場合に適用する。
の維持管理業務を見附市（以下「委託者」という。）が受託者に委託する場合に適用する。

(業務の履行)

第2条 受託者は、除塵施設の機能を十分発揮するよう、契約書及び本仕様書に基づき、効率的、経済的、かつ安全に業務を履行しなければならない。

(業務の内容)

第3条 受託者が実施する委託業務の範囲は、除塵施設の保守点検、清掃及び修理とする。

(巡回点検の実施)

第4条 受託者が実施する業務の頻度については、次のとおりとする。

(1) 点検回数及び内容

◎年次点検 年1回 巡回点検をすること。

①除塵施設の清掃

②掻揚機の絶縁抵抗測定

◎月次点検 月1回 巡回点検をすること。

①掻揚機を作動させ、異常の有無の確認

②掻揚機操作盤内の点検・異常の有無の確認

③掻揚機運転電流値・異音・振動の確認

(2) 機械器具

点検・清掃の実施に必要な機械器具（洗浄機・吸引車・三又チェンブロック・絶縁抵抗計）・工具及び消耗品（グリース含む）等については、受託者の負担において用意するものとする。

(安全の確保)

第5条 受託者は、労働安全衛生法、酸素欠乏症等防止規則、その他災害防止関係法令の定めるところにより、常に安全管理に必要な措置をし、労働災害発生の防止に努めること。

(受託者の創意工夫)

第6条 受託者は、委託者と協議しながら常に創意工夫を心がけ、施設の効率化を図らなければならない。

第2章 業務要領

(提出書類)

第7条 受託者は、契約締結後速やかに次の書類を委託者に提出しなければならない。

- (1) 業務着手届
- (2) 維持管理業務計画書
- (3) その他、委託者が必要とする書類

2 受託者は、保守点検の際、点検結果報告書を委託者に提出しなければならない。

3 受託者は、故障報告書及び補修報告書をその都度速やかに委託者に提出しなければならない。

4 受託者は、契約が満了したときは、業務完了届を委託者に提出しなければならない。

(点検整備)

第8条 受託者は、事故等を未然に防止するとともに、機器の耐用年数を増すため、定期的に点検整備を行わなければならない。

(修理)

第9条 受託者は、点検整備により発見した不良箇所のうち現場にて修理可能なものについては、修理内容を委託者と協議のうえ処置しなければならない。ただし、緊急を要する場合は、応急処置を行うとともに、委託者に報告し指示を受けなければならない。

(費用の負担)

第10条 費用の負担等については、次のとおりとする。

- (1) 安全対策器具

業務履行に必要な安全対策器具類は、原則として受託者が備えるものとする。

(2) 機器部品等

施設設備の修理に必要な機器部品については、受託者の負担とする。

(3) 消耗品類

業務履行に必要な消耗品類は、受託者の負担とする。

(疑義等)

第11条 本仕様書について疑義が生じたとき、又は本仕様書に定めのない事項については、両者協議のうえ定めるものとする。

⑭ 美里町調整池放流ポンプ 維持管理業務仕様書

第1章 総則

（仕様書の適用範囲）

第1条 本仕様書は、見附市美里町調整池放流ポンプ施設（以下「ポンプ施設」という。）の維持管理業務を見附市（以下「委託者」という。）が受託者に委託する場合に適用する。

（業務の履行）

第2条 受託者は、ポンプ施設の機能を十分発揮するよう、契約書及び本仕様書に基づき、効率的、経済的、かつ安全に業務を履行しなければならない。

（業務の内容）

第3条 受託者が実施する委託業務の範囲は、ポンプ施設の保守点検、清掃及び修理とする。

（巡回点検の実施）

第4条 受託者が実施する業務の頻度については、次のとおりとする。

（1）点検回数及び内容

◎年次点検 年1回 巡回点検をすること。

- ①高水位・ポンプ故障警報の動作確認
- ②水位計～変換器間の信号ループ試験
- ③ポンプの引き上げ点検清掃・オイル交換（クレーン付きトラック使用）
- ④フリクトスイッチの点検・清掃

◎月次点検 月1回 巡回点検をすること。

- ①ポンプピット内の点検・異常の有無の確認
- ②ポンプ操作盤内の点検・異常の有無の確認
- ③ポンプ運転電流値・異音・振動・配管からの洩れの確認
- ④ポンプの絶縁抵抗測定
- ⑤フリクトスイッチの点検
- ⑥圧力式水位計の点検

(2) 機械器具

点検・清掃の実施に必要な機械器具（洗浄機・絶縁抵抗計・直流信号発生器）・工具等については、受託者の負担において用意するものとする。

(安全の確保)

第5条 受託者は、労働安全衛生法、酸素欠乏症等防止規則、その他災害防止関係法令の定めるところにより、常に安全管理に必要な措置をし、労働災害発生の防止に努めること。

(受託者の創意工夫)

第6条 受託者は、委託者と協議しながら常に創意工夫を心がけ、施設の効率化を図らなければならない。

第2章 業務要領

(提出書類)

第7条 受託者は、契約締結後速やかに次の書類を委託者に提出しなければならない。

- (1) 業務着手届
- (2) 維持管理業務計画書
- (3) その他、委託者が必要とする書類

- 2 受託者は、保守点検の際、点検結果報告書を委託者に提出しなければならない。
- 3 受託者は、故障報告書及び補修報告書をその都度速やかに委託者に提出しなければならない。
- 4 受託者は、契約が満了したときは、業務完了届を委託者に提出しなければならない。

(点検整備)

第8条 受託者は、事故等を未然に防止するとともに、機器の耐用年数を増すため、定期的に点検整備を行わなければならない。

(修理)

第9条 受託者は、点検整備により発見した不良箇所のうち現場にて修理可能なものについては、修理内容を委託者と協議のうえ処置しなければならない。ただし、緊急を要する場合は、応急処置を行うとともに、委託者に報告し指示を受けなければならない。

(費用の負担)

第10条 費用の負担等については、次のとおりとする。

(1) 安全対策器具

業務履行に必要な安全対策器具類は、原則として受託者が備えるものとする。

(2) 機器部品等

施設設備の修理に必要な機器部品については、受託者の負担とする。

(3) 消耗品類

業務履行に必要な消耗品類は、受託者の負担とする。

(疑義等)

第11条 本仕様書について疑義が生じたとき、又は本仕様書に定めのない事項については、両者協議のうえ定めるものとする。

⑮ 本所雨水調整池放流ポンプ 維持管理業務仕様書

第1章 総則

（仕様書の適用範囲）

第1条 本仕様書は、本所雨水調整池放流ポンプ施設（以下「ポンプ施設」という。）の維持管理業務を見附市（以下「委託者」という。）が受託者に委託する場合に適用する。

（業務の履行）

第2条 受託者は、ポンプ施設の機能を十分発揮するように、契約書及び本仕様書に基づき、効率的、経済的、かつ安全に業務を履行しなければならない。

（業務の内容）

第3条 受託者が実施する委託業務の範囲は、ポンプ施設の保守点検、清掃及び修理とする。

（巡回点検の実施）

第4条 受託者が実施する業務の頻度については、次のとおりとする。

（1）点検回数及び内容

◎年次点検 年1回 巡回点検をすること。

- ①高水位・ポンプ故障警報の動作確認
- ②水位計～変換器間の信号ループ試験
- ③ポンプの引き上げ点検清掃・オイル交換（クレーン付きトラック使用）
- ④フリクトスイッチの点検・清掃

◎月次点検 月1回 巡回点検をすること。

- ①ポンプピット内の点検・異常の有無の確認
- ②ポンプ操作盤内の点検・異常の有無の確認
- ③ポンプ運転電流値・異音・振動・配管からの洩れの確認
- ④ポンプの絶縁抵抗測定
- ⑤フリクトスイッチの点検
- ⑥圧力式水位計の点検

(2) 機械器具

点検・清掃の実施に必要な機械器具（洗浄機・絶縁抵抗計・直流信号発生器）・工具等については、受託者の負担において用意するものとする。

(安全の確保)

第5条 受託者は、労働安全衛生法、酸素欠乏症等防止規則、その他災害防止関係法令の定めるところにより、常に安全管理に必要な措置をし、労働災害発生の防止に努めること。

(受託者の創意工夫)

第6条 受託者は、委託者と協議しながら常に創意工夫を心がけ、施設の効率化を図らなければならない。

第2章 業務要領

(提出書類)

第7条 受託者は、契約締結後速やかに次の書類を委託者に提出しなければならない。

(1) 業務着手届

(2) 維持管理業務計画書

(3) その他、委託者が必要とする書類

2 受託者は、保守点検の際、点検結果報告書を委託者に提出しなければならない。

3 受託者は、故障報告書及び補修報告書をその都度速やかに委託者に提出しなければならない。

4 受託者は、契約が満了したときは、業務完了届を委託者に提出しなければならない。

(点検整備)

第8条 受託者は、事故等を未然に防止するとともに、機器の耐用年数を増すため、定期的に点検整備を行わなければならない。

(修理)

第9条 受託者は、点検整備により発見した不良箇所のうち現場にて修理可能なものについては、修理内容を委託者と協議のうえ処置しなければならない。ただし、緊急を要する場合は、応急処置を行うとともに、委託者に報告し指示を受けなければならない。

(費用の負担)

第10条 費用の負担等については、次のとおりとする。

(1) 安全対策器具

業務履行に必要な安全対策器具類は、原則として受託者が備えるものとする。

(2) 機器部品等

施設設備の修理に必要な機器部品については、受託者の負担とする。

(3) 消耗品類

業務履行に必要な消耗品類は、受託者の負担とする。

(疑義等)

第11条 本仕様書について疑義が生じたとき、又は本仕様書に定めのない事項については、両者協議のうえ定めるものとする。

⑯ 見附駅東口雨水貯留槽放流ポンプ 維持管理業務仕様書

第1章 総則

（仕様書の適用範囲）

第1条 本仕様書は、見附駅東口雨水貯留槽放流ポンプ施設（以下「ポンプ施設」という。）の維持管理業務を見附市（以下「委託者」という。）が受託者に委託する場合に適用する。

（業務の履行）

第2条 受託者は、ポンプ施設の機能を十分発揮するよう、契約書及び本仕様書に基づき、効率的、経済的、かつ安全に業務を履行しなければならない。

（業務の内容）

第3条 受託者が実施する委託業務の範囲は、ポンプ施設の保守点検、清掃及び修理とする。

（巡回点検の実施）

第4条 受託者が実施する業務の頻度については、次のとおりとする。

（1）点検回数及び内容

◎年次点検 年1回 巡回点検をすること。

- ①高水位・ポンプ故障警報の動作確認
- ②水位計～変換器間の信号ループ試験
- ③ポンプの引き上げ点検清掃・オイル交換（クレーン付きトラック使用）
- ④フリクトスイッチの点検・清掃

◎月次点検 月1回 巡回点検をすること。

- ①ポンプピット内の点検・異常の有無の確認
- ②ポンプ操作盤内の点検・異常の有無の確認
- ③ポンプ運転電流値・異音・振動・配管からの洩れの確認
- ④ポンプの絶縁抵抗測定
- ⑤フリクトスイッチの点検
- ⑥圧力式水位計の点検

(2) 機械器具

点検・清掃の実施に必要な機械器具（洗浄機・絶縁抵抗計・直流信号発生器）・工具等については、受託者の負担において用意するものとする。

(安全の確保)

第5条 受託者は、労働安全衛生法、酸素欠乏症等防止規則、その他災害防止関係法令の定めるところにより、常に安全管理に必要な措置をし、労働災害発生の防止に努めること。

(受託者の創意工夫)

第6条 受託者は、委託者と協議しながら常に創意工夫を心がけ、施設の効率化を図らなければならない。

第2章 業務要領

(提出書類)

第7条 受託者は、契約締結後速やかに次の書類を委託者に提出しなければならない。

- (1) 業務着手届
- (2) 維持管理業務計画書
- (3) その他、委託者が必要とする書類

- 2 受託者は、保守点検の際、点検結果報告書を委託者に提出しなければならない。
- 3 受託者は、故障報告書及び補修報告書をその都度速やかに委託者に提出しなければならない。
- 4 受託者は、契約が満了したときは、業務完了届を委託者に提出しなければならない。

(点検整備)

第8条 受託者は、事故等を未然に防止するとともに、機器の耐用年数を増すため、定期的に点検整備を行わなければならない。

(修理)

第9条 受託者は、点検整備により発見した不良箇所のうち現場にて修理可能なものについては、修理内容を委託者と協議のうえ処置しなければならない。ただし、緊急を要する場合は、応急処置を行うとともに、委託者に報告し指示を受けなければならない。

(費用の負担)

第10条 費用の負担等については、次のとおりとする。

(1) 安全対策器具

業務履行に必要な安全対策器具類は、原則として受託者が備えるものとする。

(2) 機器部品等

施設設備の修理に必要な機器部品については、受託者の負担とする。

(3) 消耗品類

業務履行に必要な消耗品類は、受託者の負担とする。

(疑義等)

第11条 本仕様書について疑義が生じたとき、又は本仕様書に定めのない事項については、両者協議のうえ定めるものとする。

⑪ 新幸町堰上げゲート 維持管理業務仕様書

第1章 総則

(仕様書の適用範囲)

第1条 本仕様書は、見附市新幸町堰上げゲート施設（以下「ゲート施設」という。）の維持管理業務を見附市（以下「委託者」という。）が受託者に委託する場合に適用する。

(業務の履行)

第2条 受託者は、ゲート施設の機能を十分発揮するよう、契約書及び本仕様書に基づき、効率的、経済的、かつ安全に業務を履行しなければならない。

(業務の内容)

第3条 受託者が実施する委託業務の範囲は、ゲート施設の保守点検、清掃及び修理とする。

(巡回点検の実施)

第4条 受託者が実施する業務の頻度については、次のとおりとする。

(1) 点検回数及び内容

◎年次点検 年1回 巡回点検をすること。

- ①ゲート近辺の清掃
- ②電動操作機の絶縁抵抗測定
- ③電動操作機のオイル交換
- ④水位計の点検・清掃

◎月次点検 月1回 巡回点検をすること。

- ①ゲートを作動させ、異常の有無の確認
- ②水位計の点検・清掃
- ③ゲート操作盤内の点検・異常の有無の確認
- ④ゲート運転電流値・異音・振動の確認

(2) 機械器具

点検・清掃の実施に必要な機械器具（洗浄機・吸引車・三又チェンブロック・絶縁抵抗計）・工具及び消耗品（タービンオイル「無添加剤」含む）等については、受託者の負担において

用意するものとする。

（安全の確保）

第5条 受託者は、労働安全衛生法、酸素欠乏症等防止規則、その他災害防止関係法令の定めるところにより、常に安全管理に必要な措置をし、労働災害発生の防止に努めること。

（受託者の創意工夫）

第6条 受託者は、委託者と協議しながら常に創意工夫を心がけ、施設の効率化を図らなければならない。

第2章 業務要領

（提出書類）

第7条 受託者は、契約締結後速やかに次の書類を委託者に提出しなければならない。

- （1）業務着手届
- （2）維持管理業務計画書
- （3）その他、委託者が必要とする書類

- 2 受託者は、保守点検の際、点検結果報告書を委託者に提出しなければならない。
- 3 受託者は、故障報告書及び補修報告書をその都度速やかに委託者に提出しなければならない。
- 4 受託者は、契約が満了したときは、業務完了届を委託者に提出しなければならない。

（点検整備）

第8条 受託者は、事故等を未然に防止するとともに、機器の耐用年数を増すため、定期的に点検整備を行わなければならない。

（修理）

第9条 受託者は、点検整備により発見した不良箇所のうち現場にて修理可能なものについては、修理内容を委託者と協議のうえ処置しなければならない。ただし、緊急を要する場合は、応急処置を行うとともに、委託者に報告し指示を受けなければならない。

(費用の負担)

第10条 費用の負担等については、次のとおりとする。

(1) 安全対策器具

業務履行に必要な安全対策器具類は、原則として受託者が備えるものとする。

(2) 機器部品等

施設設備の修理に必要な機器部品については、受託者の負担とする。

(3) 消耗品類

業務履行に必要な消耗品類は、受託者の負担とする。

(疑義等)

第11条 本仕様書について疑義が生じたとき、又は本仕様書に定めのない事項については、両者協議のうえ定めるものとする。

⑱ 自家用電気工作物の保安業務仕様書

第1章 総則

（仕様書の適用範囲）

第1条 本仕様書は、自家用電気工作物の保安業務を見附市（以下「委託者」という。）が受託者に委託する場合に適用する。

（自家用電気工作物の範囲）

第2条 自家用電気工作物の範囲は下記のとおりとする。

- ①葛巻終末処理場
- ②今町終末処理場
- ③葛巻雨水ポンプ場
- ④南本町緊急排水施設

（業務の内容）

第3条 受託者が実施する委託業務の範囲は、下記のとおりとする。

①年次点検の実施

- ・点検には施設の全停電が伴うため、実施に当たっては天候等に十分留意し、日程を決定すること。

②月次点検の実施

- ・保安規程を遵守するように施設内を巡視する。
- ・電気設備技術基準に不適合の箇所がないか施設内を巡視する。

③電気に関する保安教育の実施。

④自家用電気工作物の改築工事等の場合、その計画が保安規程に抵触しないか意見を具申する。

第2章 業務要領

(提出書類)

第4条 受託者は、契約締結後速やかに保安業務計画書を委託者に提出しなければならない。

2 受託者は、点検の際、点検結果報告書を委託者に提出しなければならない。

(設備の改修・修理)

第5条 受託者は、点検及び巡視の結果、保安規程に抵触している箇所が発見された場合は速やかに改修または修理しなければならない。ただし、緊急を要する場合は、応急処置を行うとともに、委託者に報告し指示を受けなければならない。

(費用の負担)

第6条 費用の負担等については、次のとおりとする。

(1) 絶縁不良

通常の包括修繕で対処できる範囲の絶縁不良箇所の修理等

(疑義等)

第7条 本仕様書について疑義が生じたとき、又は本仕様書に定めのない事項については、両者協議のうえ定めるものとする。

